

平成22年度厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）

幼児健康度に関する継続的比較研究（H22-次世代-指定-013）

衛藤 隆（特例社団法人 日本小児保健協会）

幼児健康度調査の概要

- ▶ 10年に1度実施
 - ▶ 今回は4回目(昭和55年、平成2年、平成12年、平成22年)
- ▶ 満1歳から7歳未満(未就学児)を対象
- ▶ 厚生労働省・乳幼児身体発育調査と併せて実施
- ▶ 過去の調査と比較可能な質問を設定
 - ▶ 家庭・育児環境、親の状況、子どもの健康・生活、発達等



調査対象等

- ▶ 実施期間

- ▶ 平成22年9月

- ▶ 有効回答数

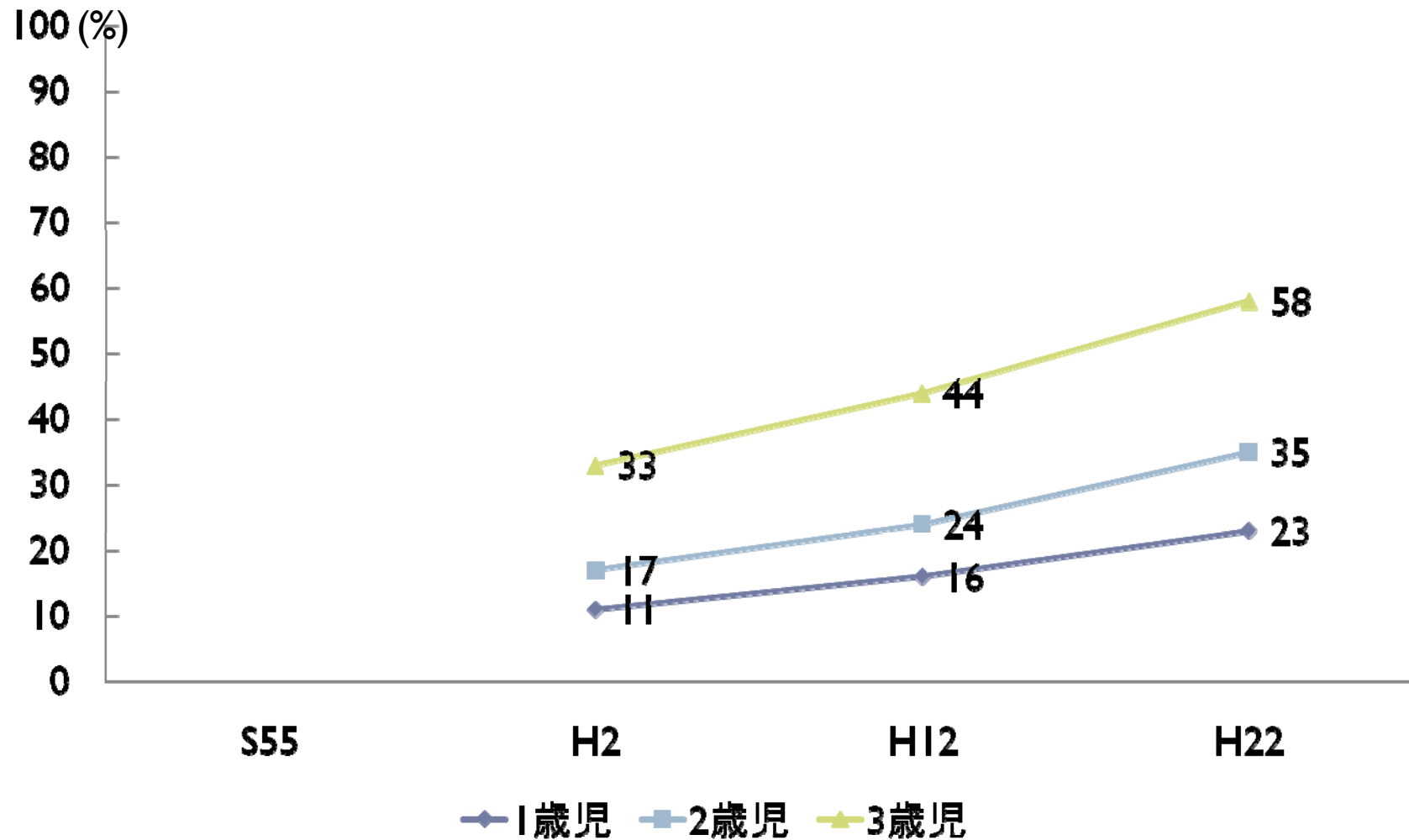
- ▶ 5,097人（男児2,596人、女児2,432人、児性別不明69人）

- ▶ 対象児の年齢

- ▶ 1歳・・・1,028人 1歳6ヶ月・・・1,074人 2歳・・・792人
- ▶ 3歳・・・623人 4歳・・・649人 5~6歳・・・931人

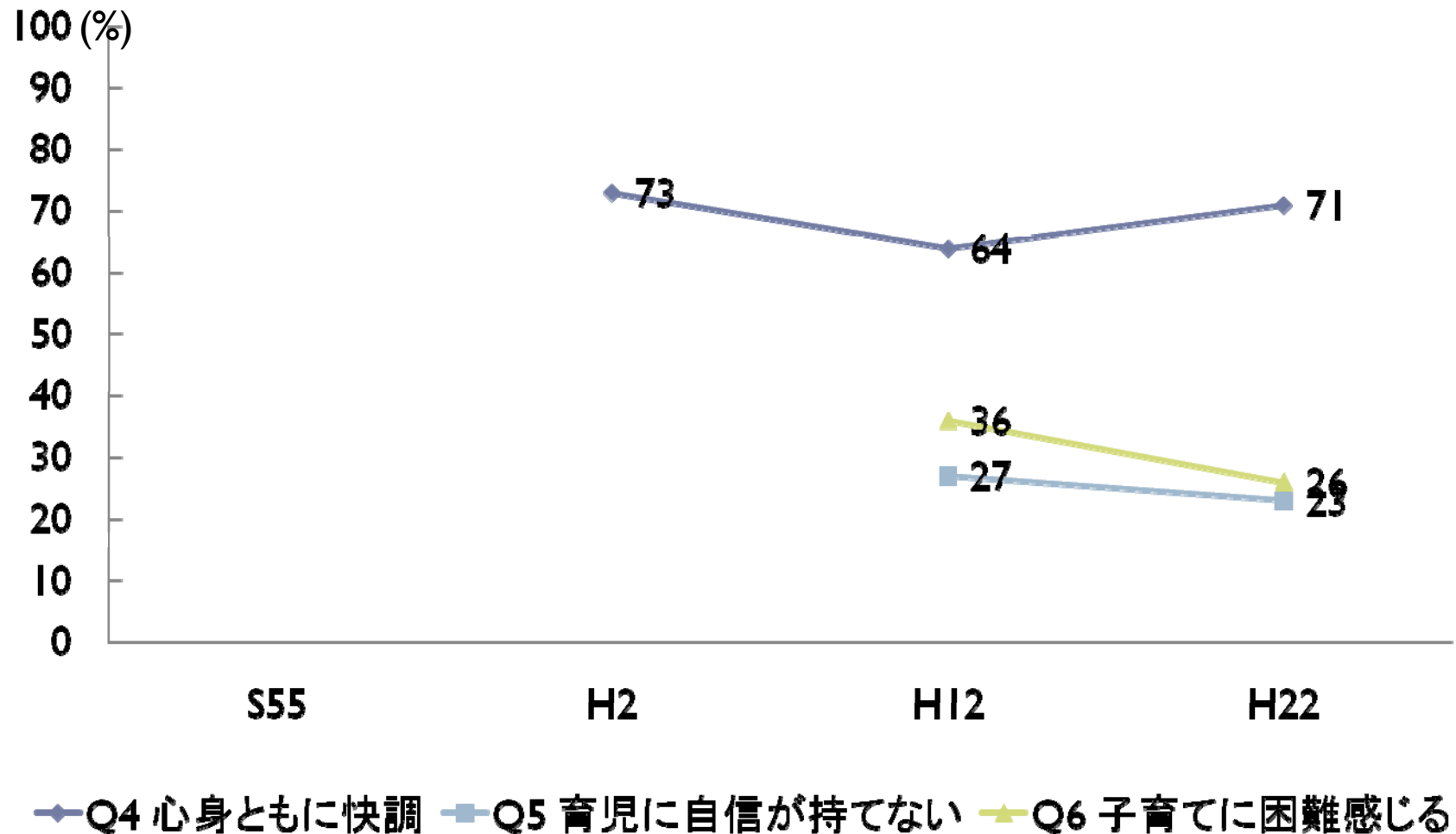


結果の抜粋 (1)子どもを預けている割合



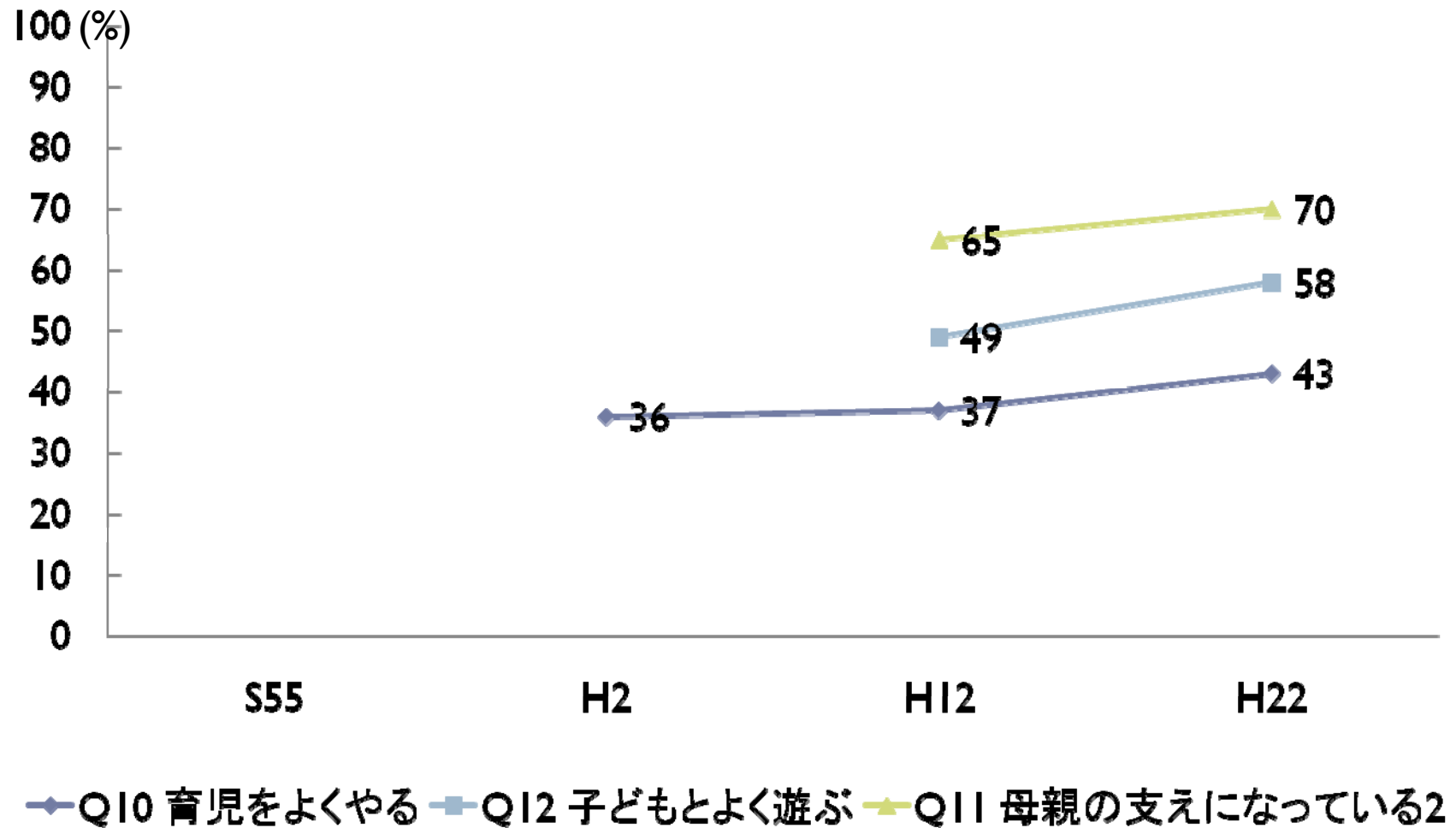
▶ 子どもを預けている割合はこの20年間で倍増していた。

結果の抜粋 (2)母親の心身状態、育児不安



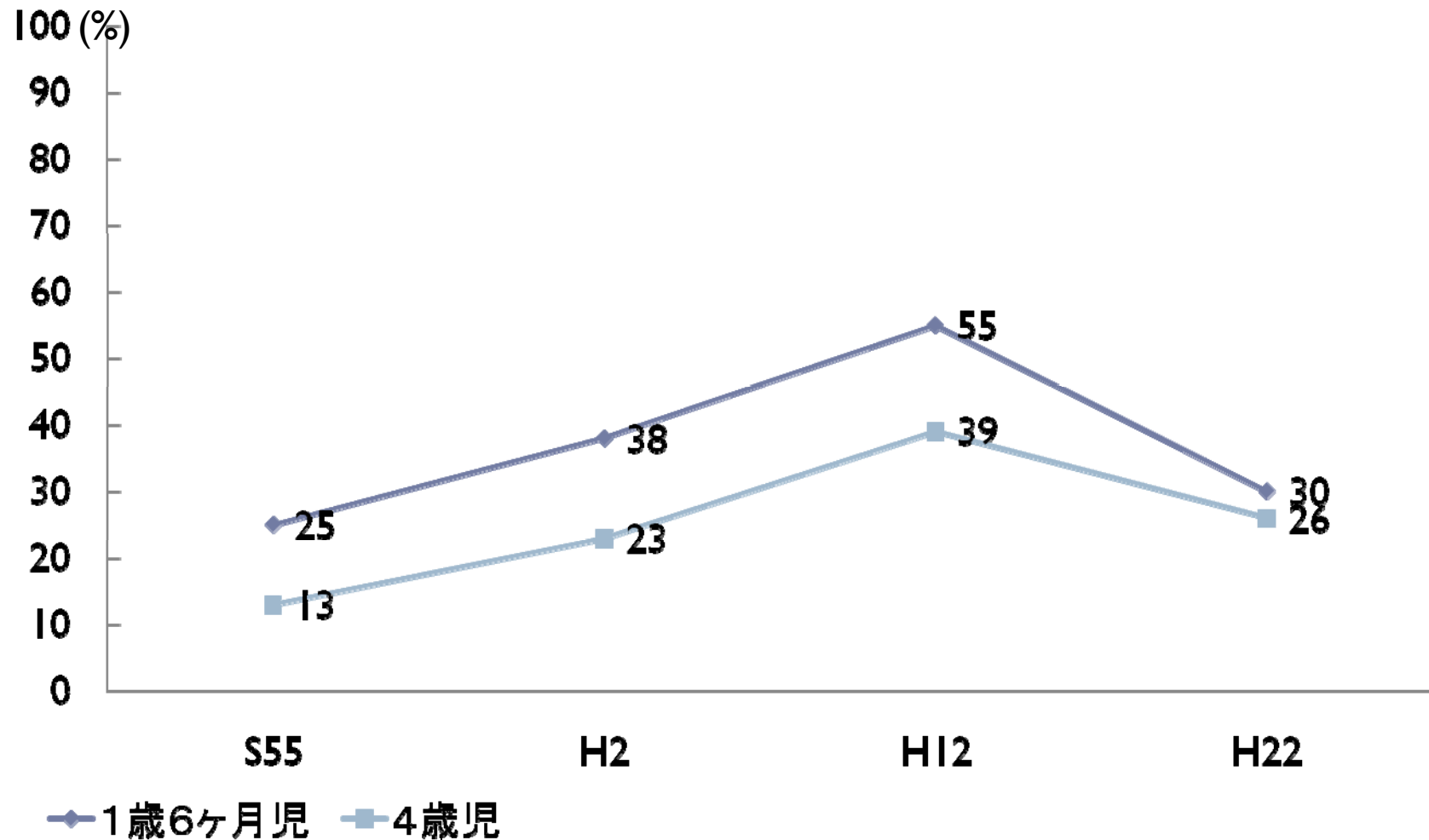
▶ この10年で母親の状況はよい方向に向かいつつある。

結果の抜粋 (3)父親の状況



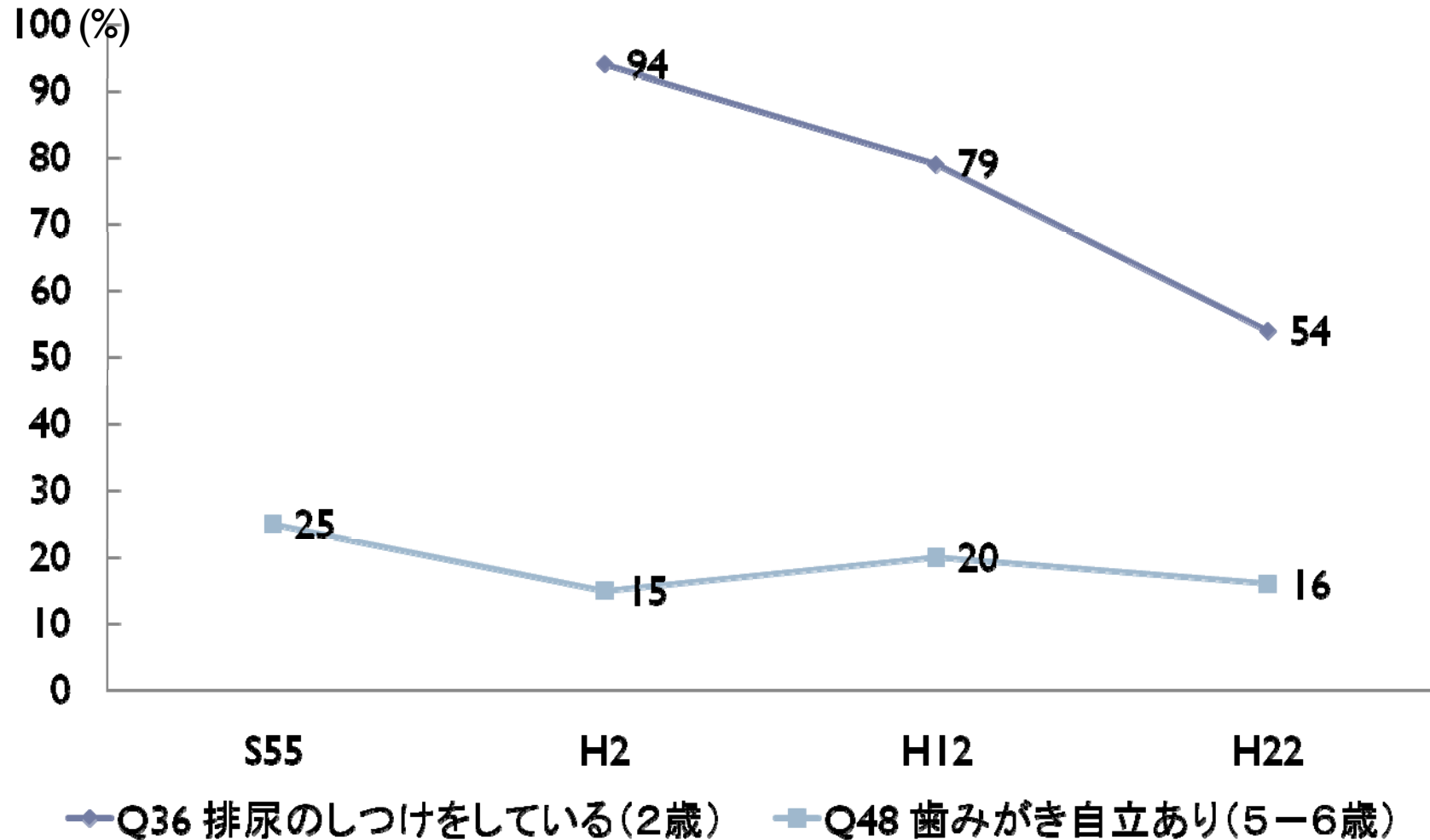
▶ この10年で父親の育児状況はよい方向に向かいつつある。

結果の抜粋 (4)10時以降に就寝する児の割合



- ▶ 10年前の状況に比較すれば夜型の割合に改善傾向がみられている。

結果の抜粋 (5)生活習慣・しつけの状況



▶ 生活習慣の自立は遅くなってきている。